



2014年4月

第36回日本サーバス国内会議が2014年3月15日(土)と16日(日)に、名古屋市で開催されました。その報告をこのページに上げましたので、ご覧ください。

1. 国内会議の報告と今後の検討課題について

会長 T. K.

(1) 第36回日本サーバス国内会議の報告

今年の国内会議は、東海北陸支部がホストとなって去る3月15、16日に名古屋国際センターの会議室で開催され、本部役員、各支部代表者、東海北陸支部会員の他、韓国からE. J. RさんとY. B. Y. さん夫妻のゲスト参加を含めて約40名が参加しました。同センター (www.nic-nagoya.or.jp) は名古屋駅から地下鉄で1駅、歩いても10分の好立地で、ホールや会議室の他に国際交流に関する資料室や図書室も設けられた大変立派な施設です。

会議以外の行事としては、15日夕に同センター最上階のレストランで懇親会が催され、長年にわたって東海・北陸支部の支部長を勤めてこられたY. T. さんに、EさんとY. H. さんから感謝の花束が贈呈されました。16日午後には支部会員の案内で、参加者の一部が伊勢神宮あるいは名古屋本丸御殿の見学に出かけました。

以下、議事の概略をご紹介します。

議題1) 各種活動報告

まず本部の会計決算が承認され、次いで各支部の活動と会計の報告が行われました。資料は添付しておりませんが、会員の方は会員のページをご覧ください。

Nさんからは、国際サーバス東アジア地区コーディネータ(AC)の役職を、昨年11月に中国・広州で開かれた東アジア大会において韓国のS. D. さんに引き継いだことが報告されました。Nさんは1998年からずっと東アジアACを勤めて7回の国際大会を主催され、この間2003 - 2008年には日本サーバス会長も兼ねられました。今後は本部ホームページ(HP)の英語版構築などにご協力いただけることになりました。

議題2) 役員人事

今回の会議の眼目の一つは本部会長と本部会計役員の交代だったのですが、準備不足で選任できず、後任が決定するまでTとIが事務取扱を務めることになりました。

ユース部会長のOさんがご家庭の事情で退任され、後任として関東支部会員のO. A. さんが部会長に、近畿支部のI. M. さんが副部会長に決定しました。お二方の就任の「おことば」は、本HPの[ユース部会のページ](#)をご覧ください。

議題 3) NPO 法人化

昨年の国内会議で日本サーバスのNPO 法人化を目指す方針が決定していましたが、今年はピースセクレタリーのTさんが作成した定款案と設立趣旨書をもとに具体的に議論しました。

まず、NPO 法人化を目指す目的は、地方自治体等の予算を呼び込んで「事業」を企画・実行することによって、組織を活性化すると同時に、日本サーバスの社会的な認知・評価を高めていくことであることが確認されました。すなわち、「NPO という箱ものさえ作っておけば日本サーバスの存続が確保される」というような、安直な思惑は否定されたわけです。

そこで、現在の日本サーバスに「事業」を起こすエネルギーがあるかどうか、が問われるわけですが、中国四国支部長のOさんから「広島市が市内の国際交流団体に対して助成金申請を募



集している。中国四国支部では、会員が経営するレストランを利用して料理を通じた市内在住外国人と小学生などの交流行事を企画して、これに応募する用意がある」とのお話がありました。議論の結果、これをモデルケースとしてとりあげ、企画実現と助成金獲得をはかるために日本サーバス全体で応援することが決定されました。その手順・経過・成果などを検証したうえで、NPO 申請について再度検討する予定です。

議題 4) ホストリストの電子化

ホストリストの電子化については昨年の会議で実施する方向が打ち出されていたので、今年は一歩進めて掲載する内容・体裁などについて議論し電子ファイルとして作成することが決定されました。その内容は以下の項目のとおりです。1) 本部の担当役員から電子化リストのフォーマット案を提示し、役員で了承を得、2) そのフォーマットに従って現存の印刷版ホストリストの情報を基に作られたホストリストについて、個々の会員の確認を求め、3) 同意した会員について電子ファイルを完成する。4) 電子ファイル作成に並行して、電子ファイルに掲載することに同意しない会員も含めた従来通りの紙印刷ホストリストを作成する。電子ファイル及び印刷ホストリストを国際サーバスに送る。

本部の担当役員としては、ホストリストコーディネータのTさんに加えてIT 委員長のNさんが電子ファイルづくりをサポートしてくださることになりました。今後の電子ファイルの詳細の作成手順・スケジュールは後日示されることになった。

議題 5) 被災者支援プロジェクト

ピースセクレタリーのTさんから、宮城県気仙沼市小泉地区のコミュニティー再建を支援する活動の現状が口頭で報告されました。

昨年の会議で、Tさんが上記の活動に対する日本サーバスからの寄付を辞退する意向を示されたため、このプロジェクト口座が廃止されたとの誤解が生じ、昨年度の入金は1件1万円のみでした。しかし、この基金の目的は東日本大震災関連に限定されるものではありません。日本サーバスは、東日本大震災を契機として、国内外の大規模災害等の被災者を支援するための寄付金の窓口として、2011年7月にこの口座を開設しました。入金された寄付金は、日本サーバスの名前を使った被災地における活動のためにピースセクレタリあてに送金され、その運用・支出はピースセクレタリに一任されています。その結果、2011年度274,340円、2012年度188,403円の送金実績があり、ピースセクレタリのTさんによる上記活動の一部に使われました。将来、他の地域あるいは外国での被災者に対して、たとえ名目的な額であっても日本サーバスの名前で連帯の意思を伝えることが必要または重要となる機会がありえます。そのような目的で使用できる基金として、今後もふるって寄付金をお寄せくださるよう、改めてアピールしたいと思います。

振替口座番号 00140-9-263481

口座名称 日本サーバス被災者支援プロジェクト

議題6) 2014年度本部予算案

時間の関係で質疑応答も議論もできませんでしたが、本部の提出した案が認められました。

議題7) 来年と再来年の国内会議の開催地

来年の国内会議は、九州支部がホストとなって2015年3月14日(土)と15日(日)に開催することが決定されました。場所は九州支部が検討中ですが福岡市内になる可能性が高いようです。

昨年の会議でも話題になっていた参加役員の旅費補助について、副会長のYさんの提案に基づいて「旅費実費の1/4相当額を参加役員全員に支給する」方式が承認されました。限られた予算をできるだけ公平に配分することを目的とした方法ですが、一部の支部の役員には個人負担が増大する懸念があります。航空券の早割購入などの「自助努力」には限界があるでしょう。来年の実施状況を見ながら改善していく必要があると思われます。

再来年2016年の国内会議は北海道支部がホストになる含みで議論されました。

(2) 今後の検討課題

時間の関係で会場では議論できませんでしたが、今後、役員メール等を使って検討していくこととなります。

1) 近畿支部のMさんから、日本サーバスが外国籍の人に認定状(LOI)を発行する場合の判断基準を検討する必要があるとの提議がなされていました。実際に、関東支部で日本サーバスに入会した米国人が、米国サーバスからいわば「追放」された人物だったことが判明し、日本における会員籍の取消し処分とLOI返納請求を通告した事例がありました。

2) 日本サーバスと外国との風通しを良くするシステムの構築が(今更ながら)必要です。

国際サーバスあるいは外国サーバスから日本サーバスあての情報は、会長が役員メールに流し、各支部は支部会報、HP、メーリングリスト等を使って各会員へ知らせることになっています。昨年7月にドイツサーバスが「2013ベルリンの夏」なる国際大会を企画して1月中旬に案内を送ってきたのですが、私(T)がこの案内メールを見落として日本では広報されず、従って日本人の反応・参加が皆無だったためドイツサーバスの響感を買い、年末にこの大会の企画者の一人にイスラエルで出会った東海・北陸支部会員のKさんが、いわれない非難を受けた事例がありました。

2. 東海・北陸支部 支部長退任にあたり

東海・北陸支部 前支部長 Y. T.

31年間の会員のうち18年の支部長、途中、支部会を宗教活動に利用するという後任支部長事件もあり、紆余曲折の支部長任務でした。まずお引き受けしたときには、会員表、会計簿他何も書類という書類なしからの出発。なにが何かわからずのスタート。とてもしんどい思いをしての船出でした。でも三重県は、一時近畿支部にも所属していたこともあり、近畿支部の皆さんにも多くのことを教えてもらいやつの船出でした。東海支部に所属したとはいえ、どこにどのような会員が所属しているのかを理解したく、近畿支部で行われていた例会を、東海支部では、広いエリアを把握するためにも、年一度の移動例会の開催にこぎつけたものです。その後、会場を、会員さんが、積極的に提供して下さったりして、長野、石川、三重、静岡と本当の移動例会です。会員相互に触れあうこともでき、行った場所で自分達で買い物をし、食事も用意し、わいわいがやがやの連続です。最近では、九州、関東、近畿支部と遠方からの会員さんも参加くださる例会となり昔の飯盒炊爨のキャンプのようなひと時で、参加された皆さん、とても楽しんでくれています。そんな時間の交わりもあり、今年の3月の国内会議の節も、皆さん積極的に役割分担をし、運営に協力して頂けました。本当にご苦労様でした。さて自画自賛ばかりではだめですね。参加された、他支部の皆さんは、如何な印象でしたでしょうか？



さて、今までに、東海支部では、他にも、国内の交流だけでなく、韓国サーバス台湾サーバスとの国際交流（関東支部会員も交えて）、色々な取り組みを続けてきましたのですが、今後、近くのアジアの国々との相互交流が発展する方向へ進んでいき、相互の国々の国際理解につながり、ひいてはアジアの平和につながっていければと、強く望んでいます。

また、アジアの方々との交流発展には、一般会員にも是非積極的に、東アジア会議なんかに参加を募り、交流の場に参加しやすくする取り組みも本部の皆さん試みて頂くと有難いです。ましてや、次期東アジア会議は、韓国とか、多くの会員の関心が向くかと思います。受け入れが減っている今だからこそただ、受け入れを待つだけでなく、積極的に交流を広げていく取り組みを日本サーバスとしても取り組んで頂ける益々の会の発展につながるかと私は思います。

音頭を取って頂く方は、確かにご苦労様ですが・・・